

学校評価結果

令和4年度3学期始めに、本校教員による学校自己評価アンケートを実施しました。テーマは、「本校における特別支援教育について」です。その結果をもとに、本校の学校関係者にご協力をいただき、関係者評価を実施しました。結果を簡単にまとめて報告します。

本文、表中に記載されている数値は質問項目に対する回答の平均値であり、本校教員の考えの概ねの傾向を示しています。質問項目ごとに「あてはまる度合い」について1〜5ポイントで評定をつけ、項目間で比較できるようにしています。

1. 自己評価

表1. 評価が比較的高い項目(高い順)

特別支援教育の対象となる生徒および保護者が学校カウンセラーなどの専門家に相談できる体制が十分に整っている。	4.00
相談を通じて得られた生徒・保護者の個人情報には留意されている。	3.96
生徒にとって、保健室やカウンセリング室などは相談に利用しやすい状況にある。	3.90
配慮の必要な生徒および保護者に関わる担任と、保健室や学校カウンセラー、管理職が十分に連携を取ることができている。	3.77
特別支援教育の対象となる生徒が以前に比べて増えたと感じている。	3.77
保護者や関係機関などとの連携協力の下での支援が行われている。	3.70
特別支援教育の対象となる生徒への関わりについて苦慮することがある。	3.54

「特別支援教育全般」「生徒や保護者との関わり」「支援の体制」「その他特別支援教育について」の意見・提案について、15項目のポイント評定の質問と4項目の自由記述での質問を行いました。○評定の高い項目は表1では評定が特に高かった7項目を示します。その内容から、特別支援の対象となる生徒に対して、個人

表2. 評価が比較的低い項目(低い順)

切れ目ない相談体制の整備のために生徒の出身校との情報交換ができている。	2.2
本校での特別支援教育については、改善すべき点があると考えます。	3.12
2022年4月に開室された「第二保健室」の内部や使用方法および生徒の過ごし方について知っている。	3.25
教職員全体で生徒の状況についての理解を共有し、特別支援の対象となる生徒の支援に取り組む体制が整備されている。	3.25
本校での特別支援教育は、現状で十分機能していると考えます。	3.25
特別支援教育のために必要な校内委員会の設置や、教員対象の研修などは適切になされている。	3.29
特別支援教育の対象となる生徒の保護者への関わりについて苦慮することがある。	3.35

「連絡を密にとることが賢明」という意見もあり、保護者との密な情報交換と信頼の構築を重視していることが改めて確認されました。○評定の低い項目は、最も評定の低かった項目は、「生徒の出身校との情報交換」です。連続性・一体性のある支援を担保するため出身校においてどのような支援がなされているかを知ることが重要です。今回浮き彫りになった課題と云えるでしょう。

情報に十分配慮しながら、保護者および学校カウンセラーと密に連携して対応しているという自負が見えます。自由記述については、「学校カウンセラーの方の存在は本当にありがたいです」や「カウンセラーの先生との連携を軸として、特別支援の対象生徒やその保護者との関わりを密にすることが肝要です」といった意見が見られ、特別支援の対象となる生徒に専門家の学校カウンセラーが関わることの効果を実感している様子がうかがえます。また、「保護者に出来るだけ寄り添い」「連絡を密にとることが賢明」とい

2. 関係者評価

「特別支援教育全般」、「生徒や保護者との関わり」、「支援の体制」のそれぞれの妥当性について、平均して3.9ポイントの評価をいただきました。

また、有益な意見やありがたい感想を多数いただきましたので、一部ご紹介いたします。「教員それぞれが対象生徒を何とかしたいと意欲的に取り組んでいる様子が如実に伝わってくる。」「特別支援教育は十分機能しているとお考えの先生が一定数おられる反面、改善すべき点があるとお考えの先生もそれなりにおられて、特別支援教育の難しさが浮き彫りになっていると感じました。」「数字を見る限りにおいては、カウンセリング室が設けられるようになり、先生方の心の負担が軽くなったように思いました。」「新しい問題として取り組まれていることが確実に評価されていた。」「学外の支援もうまく組み合わせて対応していただきたいと思いません。」「など、時に厳しいながらも、温かい目で見守っていただいていることが伝わります。

3. 終わりに

コロナ禍も終わりが見え日常を取り戻しつつある中、有益な自己評価、関係者評価を実施することができました。今回の自己評価は特別支援教育に関するものでした。課題を抱えた生徒にとってどのような教育環境が望ましいのかを見つめ直す機会となりました。今回の評価結果や多数の意見を、今後の学校運営へと生かしていきたいと思えます。